



ひ

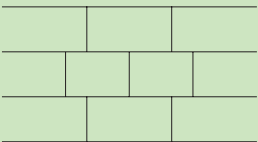
ひっつき虫を知っていますか？

秋の河原や林の中を歩くと、ズボンや靴下に何か小さなものがたくさんひっついてきます。チクチク痛かったり、ベトベトしてたり。衣類にしつかりからみついて、かんたんに払い落とせません。

そんなひっつき虫の正体は、草の実です。目を近づけてじっくり見ると、いろんな種類のひっつき虫があつて、からみついたためにそれぞれ面白い形をしているのがわかります。知りたい、なんのためにひっつくのでしょうか？

FIELD GUIDE【自然観察の手引き】

財団法人 相模原市みどりの協会



センダングサのなかま (コセンダングサ、アメリカセンダングサ)
コセンダングサは道ばたや河原の乾いた場所に、アメリカセンダングサは、田んぼのまわりなどのやや湿った場所に見られます。

ヌスビトハギ
明るい雑木林に見られます。これをそのまま大きくしたようなフジカンゾウも、同じような場所で見られます。

ダイコンソウ
雑木林の中に見られます。黄色いあざやかな花の後に、もじやもじやのひっつき虫があらわれます。茎の下から出る葉がダイコンの葉に似ているのでこの名前が付きました。

オオオナモミ
河原の石がゴロゴロした場所や、造成地で見られますが、最近は少なくなりました。場所によっては、もう少し大型のイガオナモミが増えています。

イノコズチのなかま (イノコズチ、ヒナタイノコズチ)
イノコズチは林の中、ヒナタイノコズチは河原や道ばたなど、日当たりの良い場所に見られます。

チヂミザサ
雑木林の中や、庭の日当たりの悪い場所に生えます。イネと同じなかまの草です。

キンミズヒキ
明るい雑木林に見られます。花は小さいけれどたくさんつき、鮮やかな黄色でよく目立ちます。

ミズヒキ
林の縁のちょっと明るいところで見られます。花は小さいけれど、紅色と白のコントラストが美しく、色はタネになっても残ります。

ガンクビソウ
雑木林の中に見られます。下向きの花が、キセル(昔のたばこを吸う道具)の「がんくび(火を付ける先の部分)」のような形をしているところからついた名前です。

文とイラスト 相模原市立博物館 学芸員 秋山幸也

発行 財団法人相模原市みどりの協会

〒228-0828 相模原市麻溝台2-317番地の1 市立相模原麻溝公園内 TEL042 777 2860

ホームページURL <http://www.sagamihara-green.or.jp/>

ひっつき虫ってこんなにたくさんあるんだ?!

トゲトゲでからみつく

鋭く突き出た「トゲ」や、先がかぎ型に曲がった「つの」、細かくはえたかたい「毛」などで、動物の毛や、人間の服にくいこみます。

【ダイコンソウ】

長くのびたつのと、表面の毛の両方でひっついてきます。



【センダングサのなかま】

今、もっともたくさん見られるひっつき虫。



【アメリカセンダングサ】

【センダングサ】

【キンズビキ】

小さいけれど、ひっつく力は強いよ。



【オオオナモミ】

ひっつき虫の王様。このひっつきくみから、マジックテープが考え出されたと言われてます。



【ヌスビトハギ】

トゲが無いのにひっつく不思議なひっつき虫。表面をよく見ると、ちぢれた細かい毛がびっしりはえていて、強くからみついてきます。

植物のタネは、いろいろな方法で、親の植物から離れた場所に分布を広げ、子孫を残そうとします。ひっつき虫は、ほ乳類の毛や、鳥類の羽にからみついて、遠くまで運んでもらう方法を発達させた植物のタネです。ひっつき虫の多くは、秋から冬にかけて見られます。

【ミスヒキ】



よく見るときれいな色で、面白い形をしているよ。はらうとすぐに落ちます。

【イノコズチのなかま】

(イノコズチ、ヒナタイノコズチ) 一度にたくさんひっつくけど、はらうと簡単に落とせます。



【イノコズチ】

バトバトでひっつく

タネが実る頃になると、バトバトした液を出してひっつきます。たいてい細かくてすぐにバラバラになるので、払い落とすのに苦労します。

【ガンクビノウ】

草についているあいだは、きれいなたばになってますが、バラバラになると、細長いタネがたくさんひっつきます。



【チヂミザサ】

背の低い草なので、靴や靴下によくひっつきます。

